

『日本の図書館』への児童サービス調査項目の掲載について

JLA 図書館調査事業委員会

『日本の図書館』では、2008年以來、児童サービス関連項目の調査がされておりました。2018年調査より、この調査項目を復活し、以下のようにデータを掲載することになりましたので、ご協力をお願いいたします。

この間、児童青少年委員会より当委員会に対して要望が提出され（2013年7月）、当委員会は、下記の内容を確認し回答しました。

- ①「児童」についての調査項目を毎年の調査項目に追加する。
- ②『日本の図書館』に「児童」についての項目を追加する。
- ③調査開始は、準備が整い次第実施とする。

児童青少年委員会からは、公立図書館にとって児童サービスは基礎的なサービスであり、その実態を裏付ける基本的なデータは、図書館サービスの指標として公立図書館にとって必要なものであること。都道府県図書館協会の多くは日本図書館協会の調査にはあがっていても、児童の統計を取り続けていること。『日本の図書館』の調査では、ここ10年余児童の調査がされていないこと。子どもの読書活動推進が国をあげて求められている政策課題であることなどを挙げ、調査の実施を求められてきました。

調査項目、記入要領、データの公表方法については、以下のとおりです。

ご理解とご協力をお願いします。

【児童サービス調査項目、データの公表方法について】

- ①「児童」についての調査項目を毎年の調査項目に追加する。
調査項目は、蔵書数、受入図書数、登録者数、貸出数のところに「うち児童」として、計8か所に追加する。
- ②『日本の図書館』に「児童」についての項目を追加する。
集計に、蔵書、受入図書、登録者、貸出数を追加。
各館の児童サービスの統計は、電子媒体版で掲載する。

【記入要領（案）】

児童サービス（〇〇年度の実績と調査時点により記入する）

主として小学生以下の子どもを対象とした図書館サービスの把握を調査目的とする。

- ・蔵書冊数うち児童冊数：児童サービスとしての絵本・紙芝居を含む蔵書冊数を記入する（〇〇年3月31日現在）
- ・受入冊数うち児童冊数：絵本・紙芝居を含む児童書の受入冊数の合計を記入する（前年度実績）
- ・受入購入冊数うち児童冊数：上記のうち、購入冊数を記入する（前年度実績）
- ・登録者うち児童登録者数：小学生以下の登録者数を記入する（前年度実績）
- ・貸出数うち児童貸出数：絵本・紙芝居を含む児童書の個人貸出数を記入する（前年度実績）